



平成 21 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社リンコーコーポレーション
代表者名 取締役社長 岡村 繁
(コード番号 9355 東証第 2 部)
問合せ先 取締役経理部長 山下 和男
(TEL. 025 - 245 - 4112)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 9 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	23,436	967	836	288	10.67
今回発表予想 (B)	22,650	612	504	158	5.86
増減額 (B-A)	△786	△355	△332	△130	—
増減率 (%)	△3.4	△36.7	△39.7	△45.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	22,587	975	884	262	9.74

2. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	12,959	1,123	1,039	596	22.09
今回発表予想 (B)	12,733	800	735	409	15.16
増減額 (B-A)	△226	△323	△304	△187	—
増減率 (%)	△1.7	△28.8	△29.3	△31.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	12,992	1,097	1,047	533	19.78

3. 修正の理由

米国のサブプライムローン問題を契機に発生した世界的な金融危機は実体経済に影響を及ぼし、世界同時不況の様相を見せております。

当社を取り巻く事業環境も昨年10月以降悪化の兆候が顕著となり、特に当社の主力事業であります運輸作業部門はメーカーの設備投資の抑制と生産調整の影響を受け、港湾作業における船内取扱数量は減少しております。

今後の平成20年度第4四半期の業績見通しは、当社の事業環境が更に悪化することが予想され、当初の業績予想を大きく下回る見込みです。

その結果、平成20年5月9日に開示致しました業績予想に対し、上記表のように下方修正するものです。

ただし、平成18年11月7日、新潟東港コンテナターミナル内にある新潟県所有のガントリークレーンが強風によって倒壊するという事故が発生しましたが、当社は事故発生当時、このクレーンで荷役作業を行っておりました。クレーンの再建費用負担につきまして当社と関係者間において協議が進められており、この協議結果次第では、今後、当社に損失負担の可能性がります。

なお、上記の予想は、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今回の業績予想の修正と異なる可能性があります。

4. 配当予想の修正

	1株当たり配当金
	期 末
前回発表予想 (平成20年5月9日発表)	7.00円
今回修正予想	3.00 ～5.00円
前期実績 (平成20年3月期)	7.00円

5. 修正の理由

当社は、株主各位への利益配当を最重要課題のひとつとして認識しており、業績に裏付けられた成果の配分を行うとともに、将来の安定的な利益確保のため、内部留保に努め、安定した配当を継続することを基本方針としております。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては、大変厳しい事業環境の下、通期の業績見通しが当初の業績予想を大きく下回る見込みであり、業績予想の下方修正を行わざるを得ず、更に、今後の経営環境が不透明であることから、誠に遺憾ではありますが、当期の通期実績と来年度の業績見通しを勘案した上で、改めてご提案させていただきたいと考えており、現時点では3～5円とさせていただきます。

以 上